

寄稿

# 青木繁「海の幸」記念館 開館1周年を迎えて(上)

館山 小谷 福哲

昨年4月、館山市市良の小谷家住宅が青木繁「海の幸」記念館となり、当主の私が館長に就任いたしました。「少子高齢化の進む漁村の活性化のためなら、古いわが家を後世に残し、どうぞお役立ててください」と、父・小谷栄が決断してから11年目のことでした。

この間、富崎地区コミュニティ委員会を中心に設立された青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会(嶋田博信会長)、事務局を担ってきたNPO法人安房文化遺産フォーラム(愛沢伸雄代表)をはじめ、全国の画家の皆様、NPO法人青木繁「海の幸」会(大村智理理事長)、

そして館山市・同教育委員会等の関係者が力を合わせて修復基金を募り、記念館の開館に至りました。

とはいっても公営施設ではないため、公開日は毎週土・日曜のみとなっております。事前予約があれば平日も開館しています。運営は、保存する会の皆さんがボランティアで受け付けや掃除などの業務に当たってくださっています。

これまでに、市内からは館山総合高校の「観光の学び」として1年生150名、神戸小学校の「3つのあ

のふるさと学習」で4年生19名、千葉女子高校1年生320名、昭和女子大学100名な

ど、市内外の学校や諸団体、また遠くは韓国やドイツなど海外からも来訪されました。こうして、この1年間で3000人を超える来訪者をお迎えすることができました。「雰囲気がかつても良い、来て良かった」等の感想をお聞きすることはとてもうれしく、励みになっています。

四季折々に合わせて和紙人形展、江戸人形浄瑠璃を楽しむ会、煎茶道を楽しむ会、ひな祭りなどの企画を催し、多くの方々の協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。

ここで、これから訪問される皆様のために、当館について紹介させていただきます。

現在の小谷家住宅は、釜場は壊され主屋しか残っていませんが、青木繁が来訪時に描いたと思われる周辺略図では当家を2棟に

わら)の葺(ふ)き替え、なまこ壁の復元など、業者の皆様のご苦勞いただき、かつての姿を蘇(よみがえ)らせることができました。

小谷家住宅は、安房地域の漁村を代表する分棟型民家として、館山市の有形文化財に指定されています。分棟型とは、主屋と釜屋(土間)の2棟からなる南方系文化を伝える住居形式です。これまでは黒潮の流れに沿って分布しているという定説でしたが、館山市文化財審議委員の日塔和彦先生により、オセアニア(ポリネシア)から布良へカヌーで直接伝達したという可能性が示唆されました。

図示していることは、昨年4月の房日新聞寄稿で愛沢伸雄氏が紹介したとおりで、館内にも展示紹介しています。

主屋の右手にあるブロンズレリーフは、彫刻家の船田正廣氏が3年がかりで完成させた

石膏の塑像をもとに製作された、同寸大の「刻画・海の幸」です。戦後70年と日韓国交正常化50周年を記念し、秀林文化財団理事長の河正雄(ハ・ジョンウン)氏の資金提供により、館山の小谷家、九州久留米の青木繁旧居、韓国の3美術館(ソウル・光州市・靈

岩郡)に設置されました。

船田先生は「皆さん、ブロンズをなでてください」と言います。人の手で触ることで磨かれ、ブロンズがさらに輝いていくのだそうです。

ブロンズの右隣には、ノーベル賞を受賞された大村智理先生による記念植樹があります。もともと当家にもあるクロガネモチという大木と同種の苗木で、縁起の良い木といわれています。偶然にも青木繁の故郷・久留米市の木で、青木繁旧居の庭にも植えられています。大村先生が書かれた「美は人を養う」という色紙をもとに、俵石材店さんが揮毫の石座を作って寄贈してくださいました。

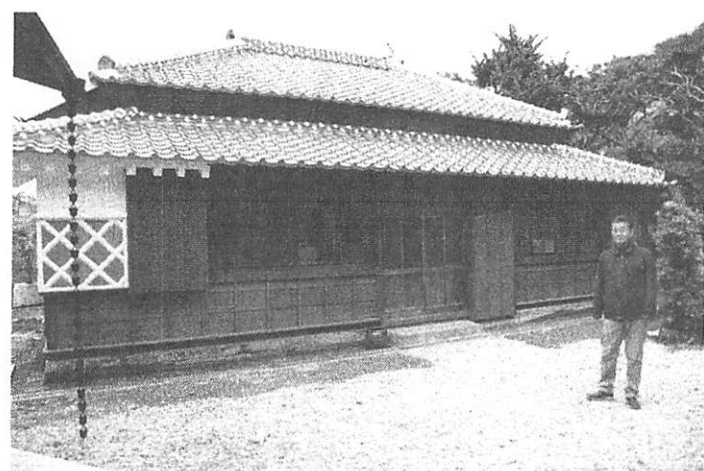
(つづく) 青木繁「海の幸」記念館館長

文化財建物

2年かけて半解体の修復工事により、瓦か

文化財建物

2年かけて半解体の修復工事により、瓦か



小谷家住宅全景

文化財建物

寄稿

# 青木繁「海の幸」記念館 開館1周年を迎えて(下)

館山 小谷 福哲

つづいて、館内の造作や展示について紹介いたします。玄関を入った左手が受け付けです。

青木繁ら4人が滞在したといわれる奥2間には「海の幸」と「わだつみのいるこの宮」を、北側の納戸には「海」「海景」の複製画を常設しています。これらは、高度なスキナー技術資格を有する島田吉廣氏が、原画を綿密に観察して、できるだけ忠実な色彩で原寸大に複製印刷したものです。どうぞお楽しみください。

## 絵手紙と日本初 カラー魚類図

青木繁は滞在中、友人の梅野満雄に4枚

の絵手紙を出状しました。この地の素晴らしい景観や歴史とともに、40種もの魚貝名を列挙して豊かな海を讃えており、「海の幸」と思われる大作を制作中だと書いています。

奥2間に掲示された3枚の魚類図は、水産伝習所(東京海洋大学の前身)の初代所長・関澤明清から漁業実習指導のお礼として明治23年9月に小谷喜録へ贈られた「日本重要水産動植物之図」だと判明しました。これは農商務省水産局が制作した日本初のカラー魚類図で、パリ万博に出品されたものです。

青木繁もこの魚類図を見て興味を持ち、多くの魚貝名を絵手紙に

書いたのではないかと  
思うとワクワクしてき  
ます。

## 神田吉右衛門 日記と内村鑑三

有名なキリスト教思想家の内村鑑三が、水産伝習所の教師として漁業実習で布良を訪れ、神田吉右衛門との出会いが人生の転機になったと自著に記していることは、すでに水産学者の平本紀久雄氏より報告されていまし

ました。神田は、全国のモデル的な村政に取り組んだ富崎村長です。

さらに神田吉右衛門日記(館山市立博物館蔵)を読み解いたところ、内村鑑三に関して10回の記載が見つかりました。それによると、伝習所の引率で布良の旅館「柏屋」に滞在したことや、沖で遭難したアメリカ船の船員との通訳を依頼したこと、相浜で地引網の

実習をしたことなどが  
明らかになってきまし  
た。

## 韓国王族の書 小谷家から見つかった

た書画の中に、「韓国李垞鎔(イ・ジュンヨン)」と署名されたものがあります。大韓帝国皇帝・高宗の甥(おい)であり、さまざま

な政変に  
関わっ  
て日本  
に亡命  
し、館  
山に閑  
居した  
時期が  
ありま  
した。

また期間中は「富崎まちかどミニ博物館めぐり」というイベントを企画し、布良崎神社や安房自然村をはじめ富崎地区内で、さまざま展示や行事をおこなっています。多くの皆様のご来訪をお待ちしています。



海の幸 (ブリヂストン美術館蔵)

まったと報道されてい  
ます。

## 1周年記念行事

1周年を迎えるゴールデンウィークには、4月29日から5月7日まで、青木繁「海の幸」記念館を毎日開館いたします。

また期間中は「富崎まちかどミニ博物館めぐり」というイベントを企画し、布良崎神社や安房自然村をはじめ富崎地区内で、さまざま展示や行事をおこなっています。多くの皆様のご来訪をお待ちしています。

また期間中は「富崎まちかどミニ博物館めぐり」というイベントを企画し、布良崎神社や安房自然村をはじめ富崎地区内で、さまざま展示や行事をおこなっています。多くの皆様のご来訪をお待ちしています。

めて「海の幸」が海外  
で紹介されると注目さ  
れています。東京八重  
洲口の同館は現在建て  
直し中で、2年後にリ  
ニューアルオープンす  
る予定です。これまで  
九州の石橋美術館に  
あった青木繁の作品は  
すべて東京に移され、  
東京オリピックの集  
客を自覚した企画と思  
われます。

## これからの展望

今月から4か月間、パリでブリヂストン美術館展が開催され、初

めて「海の幸」が海外で紹介されると注目されています。東京八重洲口の同館は現在建て直し中で、2年後にリニューアルオープンする予定です。これまで九州の石橋美術館にあった青木繁の作品はすべて東京に移され、東京オリピックの集客を自覚した企画と思われます。

今月から4か月間、パリでブリヂストン美術館展が開催され、初

めて「海の幸」が海外  
で紹介されると注目さ  
れています。東京八重  
洲口の同館は現在建て  
直し中で、2年後にリ  
ニューアルオープンす  
る予定です。これまで  
九州の石橋美術館に  
あった青木繁の作品は  
すべて東京に移され、  
東京オリピックの集  
客を自覚した企画と思  
われます。

## 観光振興の一助

観光振興の一助として、ぜひお力を貸していただけたら幸いです。

観光振興の一助として、ぜひお力を貸していただけたら幸いです。

観光振興の一助として、ぜひお力を貸していただけたら幸いです。

(おわり、青木繁「海の幸」記念館館長)